

【計画】2-3 気候変動による印旛沼とその流域への影響と流域管理方法の検討

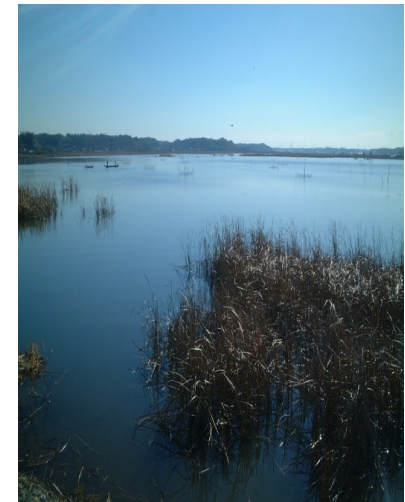
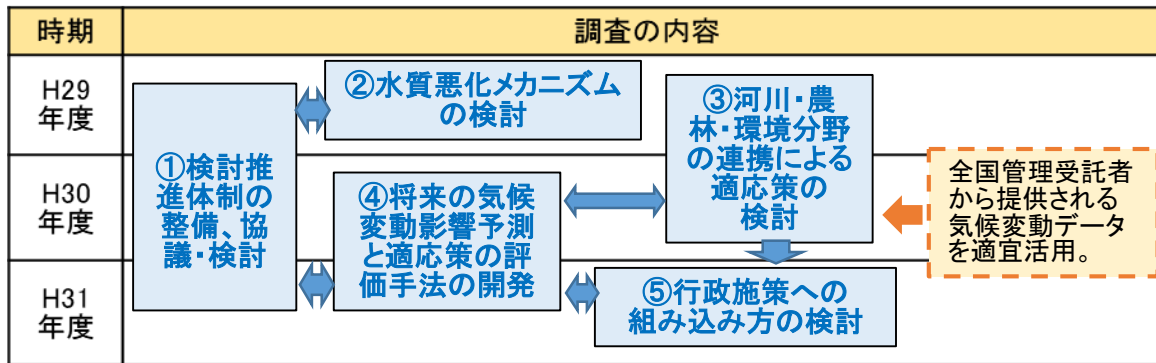
【分野:水環境、対象地域:千葉県(関東地域全域)】

地域適応コンソーシアム関東地域事業

■ 目的

- 印旛沼は、人口増加や都市化に加え、気候変動の影響による気温の上昇、短時間強雨や大雨の発生頻度の増加等によって、水質悪化や洪水のリスクが高まっている。特に水質は、上水・農業用水・工業用水としても利用されており、改善が期待されているものの、気候変動が水質に与える影響の詳細は明らかにされていない。
- 本調査では、気候変動が印旛沼の水質に与える影響とその関連性を明らかにし、その適応策として、河川・農林・環境分野が連携した流域管理方法を検討する。

■ 調査計画(3カ年)



印旛沼

■ 実施体制

印旛沼流域適応策検討推進協議会

技術的助言

パシフィックコンサルタンツ株式会社

- ① 検討推進体制の整備、協議・検討(運営)
- ② 気候変動の影響による水質悪化メカニズムの解明(主に実施)
- ③ 河川・農林・環境分野の連携による適応策の検討
- ④ 将来の気候変動影響予測と適応策の評価手法の開発(予測)
- ⑤ 行政施策への組み込み方の検討(主に実施)

学校法人東邦大学(共同実施者)(~H30)

国立環境研究所(技術協力)(H31~)

- ① 検討推進体制の整備、協議・検討
- ② 気候変動の影響による水質悪化メカニズムの解明(支援)
- ③ 河川・農林・環境分野の連携による適応策の検討
- ④ 将来の気候変動影響予測と適応策の評価手法の開発(調査)
- ⑤ 行政施策への組み込み方の検討(支援)